

【声明】

菅首相の政権投げ出しについて

2021年9月4日
全国生活と健康を守る会連合会
会長代行 吉田松雄

1 菅義偉首相は9月3日、自民党総裁選に出馬しないことを表明し、政権を投げ出しました。国民がコロナの中で苦しんでいるにも関わらず、無為無策、科学無視、自己責任の押し付けに対して「もうこんな政治はいらない」と国民の怒りが沸き起こり、国民の声に追い詰められた結果です。

1 安倍・菅政権の9年間は、新自由主義政策の強行により、国民は苦しめられるばかりでした。私たちにとって、最大の問題は、生活保護基準の2度にわたる引き下げです。最大で15%の削減となり、月額で2万円以上が引き下げられました。私たちは、全国で1万人の審査請求を行い、さらに1000人以上で裁判を提起しました。こうした運動と世論の高まりの中で、「生活保護は国民の権利。ためらわずに申請を」と安倍前首相も菅首相も表明することになりました。2021年2月には、大阪地裁で原告勝訴判決を勝ち取りました。厚生労働省も「生活保護は国民の権利です」とホームページで告知せざるを得なくなりました。

菅首相の総裁選出馬断念は、社会保障充実を求める国民世論の運動に追い詰められて生じたものです。

1 コロナ感染拡大により、格差と貧困が拡大し、医療がひっ迫していますが、新自由主義政策・自己責任を求める自公政権は、何ら有効な感染対策もとれず入院制限まで出しています。今、自民党は、菅首相の政権投げ出しを受けて、総裁選挙を行い、新しい総裁・首相を決めようとしています。首相の首のすげ替えでは、何ら新しい政治をつくることはできません。今こそ、国民の生活と健康を守る政権が求められています。

1 衆議院の任期満了（10月21日）が迫り、総選挙が目前です。新しい政治を実現するチャンスです。私たちは、市民と野党の共同により、総選挙で勝利するために全力で奮闘する決意です。新自由主義政策から脱却し、国民のくらし第一の政治を実現させる決意です。